

とやま

県広報とやま

2002

2月号

No.391

富山県

特集 男女がともに輝く社会の実現をめざして
～富山県民男女共同参画計画策定～



昨年8月、神戸で行われた第13回世界移植者スポーツ大会で金メダルを獲得した太田友恵さん(中央)。指導員を務める水泳教室の生徒の皆さんと。

12月

1 ~ 20日

首都圏で富山の深層水をPR

「深層水フォーラム」「深層水フェア」

富山の深層水商品の販路開拓や利用促進、関連企業の誘致を図るため、十二月三日、東京・赤坂プリンスホテルで「深層水フォーラム」が開催されました。

当日は、首都圏の食品、化粧品メーカーや商社など約百社が参加。富山の深層水の特長を説明するセミナーのほか、深層水商品の試飲食や、商品化に向けての情報交換などが行われました。



企業関係者など、多くの人に参加した深層水フォーラム

また、十二月一日から二十日までの間には、同ホテルで「深層水フェア」が開催されました。ホテル内のレストラン利用者に、富山の食材を使った料理と深層水入りミネラルウォーターを提供したほか、展示コーナーを設置するなど、富山の深層水をPRしました。

深層水は、未知の可能性を秘めた、まさに「神層水（神の水）」です。今後多くの皆さんに利用されるよう、富山の深層水ブランドの確立に努めていきます。

問合せ

県庁商工企画課

☎ 076(444)3243

12月

10日

交通渋滞の緩和と県東部の連携を強化

四十八ヶ瀬大橋が開通

黒部川に架かる国道八号入善黒部バイパスの四十八ヶ瀬大橋が完成し、十二月十日に



テープカットとくす玉割りで完成を祝う関係者



開通式が行われました。

開通式では、国土交通省北陸地方整備局長や地元の各首長、議長など関係者によるテープカットやくす玉割り、地元の小中学生などによる渡り初めが行われ、開通を祝いました。

この開通により、入善黒部バイパスの入善町東狐一黒部

市古御堂間（三・二キロ）が暫定二車線で通行できるようになりました。

同バイパスは、入善一魚津間の慢性的な渋滞解消と県東部地域の活性化につながる道路として期待されています。

問合せ

県庁道路課

☎ 076(444)3319

12月

15 ~ 16日

高校生が日ごろの学習活動を披露

高校生きらめきフェア

県内の高校生が一堂に集まり、日ごろの学習活動を紹介する、高校生きらめきフェアが十二月十五日、十六日の二日間、富山国際会議場で開催されました。

県では、高校生の表現力を高め、創造性をはぐくむため、今年度から「高校生による創造発信事業」をスタート。同フェア

はその一環で、これまでに行われた活動の成果が披露されました。

当日は、県内六十七校の特色ある活動がパネルやビデオで紹介されたほか、ステージでは、ディベート決勝大会、創作ダンス発表会、英語プレゼンテーションなどが展開されました。進路の参考にするために訪れた中学生をはじめ多くの人が、高校生のいきいきとした活動を楽しみました。

県では、今後も高校生の創造力や表現力を伸ばすとともに、その成果を幅広く発信する機会を設けていきます。

問合せ

県教育委員会指導課

☎ 076(444)3450



白熱した論戦が繰り広げられたディベート決勝大会



CONTENTS 目次

TOPICS【トピックス】	1
県政の動き / 県ナビとやま	2
特集	3
男女がともに輝く社会の実現をめざして ～富山県民男女共同参画計画策定～	
CLOSE UP【クローズアップ】	7
富山から発信！地球志向の「日本海学」	
とやま感動案内	9
海王バードパーク	
とやまのやる気・元気	11
第13回世界移植者スポーツ大会競泳金メダリスト 太田 友恵さん	
インフォメーション	12
県政ミニガイド	13
行ってみよう情報	14
とやま音のある風景	15
生地の共同洗い場 [黒部市]	

県政の動き

12/1 ~ 1/15



- 12月1日** 深層水フェア（～20日）
- 3日** 12月定例県議会（～19日）
深層水フォーラム
- 4日** 中国遼寧省の国際交流センター「国際交流中心」の日本事務所が富山市内に開所
- 10日** 国道8号入善黒部バイパス 四十八ヶ瀬大橋が開通
- 15日** 高校生きらめきフェア（～16日）
- 22日** 日本海学シンポジウム（会場：大阪市内）
- 28日** 牛海綿状脳症（BSE）対策で、牛を識別・管理する耳標の取り付け作業が開始
- 1月12日** 県民男女共同参画計画策定記念フォーラム



和田川水道管理所

“安全でおいしい水道水” “豊富な工業用水”を安定供給しています



和田川水道管理所では、皆さんの快適な生活や産業の発展のため、次のような仕事をしています。

(1) 水道水・工業用水の安定供給

- ①和田川水系から1日当たり平均約7万4,000m³（50mプール51杯分）の水道水を県西部の高岡市と射水上水道企業団を通じて、約8万世帯へ供給しています。
- ②1日当たり平均約26万5,000m³（50mプール183杯分）の工業用水を富山新港周辺の企業などへ供給しています。

(2) 安全で良質な水の確保

- ①和田川ダムや流入する河川の水質を検査しています。
- ②水質基準に適合した水道水かを確認するため、精度の高い分析機器を導入し、きめ細やかな水質検査を実施しています。

- ③水源から受水団体までの水質および浄水処理効果を確認するため、濁度、pH値、残留塩素などを常時監視しています。（さらに、水質汚染事故などに対応するため、水質自動監視装置を間もなく導入することとしています。）

(3) 普及・啓発

県民の皆さんに理解を深めていただくため、事前申込みによる施設見学・案内を行っています。

DATA

和田川水道管理所
 〒939-1263 高岡市島新137
 ☎ 0766(36)0293
 FAX 0766(36)1132
 E-mail wadagawasukan@pref.toyama.jp



ホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/sections/7102/wada/index.htm>

富山県民男女共同参画計画体系図

基本目標

重点課題

施策の方向

- ① 政策・方針決定の場への男女共同参画の推進 **きめる**
- ② 男女平等意識の確立 **みなおす**
- ③ 男女の心とからだの尊重 **まもる**
- ④ 男女共同参画の基盤整備 **ささえる**

- 政策をきめる
しごとの方針をきめる
地域の方針をきめる
- 意識をみなおす
家族の役割分担をみなおす
制度・慣行をみなおす
- 人権をまもる
からだをまもる
高齢期の暮らしをまもる
- 家庭生活をささえる
世界の女性とささえあう
取り組みをささえる

県など行政部門の管理職への登用や、審議会などの意思決定の場や職場、地域への女性の参画を進めるとともに、女性の人材育成に努めます。

学校教育や生涯学習の中で、男女平等についての意識づくりを進めます。また、性別による役割分担を反映した制度や、社会慣習、しきたりについて調査し、見直しを進めます。

女性に対する暴力を根絶するための体制を充実するとともに、性に関する教育、啓発、相談を充実し、生涯を通じた健康を支援します。また、高齢者対策を充実します。

保育、介護などの家庭の機能を支援します。また、女性の地位向上に向けた世界での取り組みと協調した行動を進めるとともに、総合的な推進体制を確立します。

計画の目標 男女共同参画の推進



男女がともに輝く社会の実現をめざして

～富山県民男女共同参画計画策定～

最近の統計で見る本県の特徴

・女性の平均寿命	83.86歳(全国 5位)
・三世同居率	22.2%(全国 3位)
・女性の高校進学率	98.8%(全国 2位)
・女性の就業率	53.4%(全国 4位)
・共働き率	62.1%(全国 3位)
・民間企業での女性の管理職比率	2.55%(全国41位)

県では、男女が、固定的な役割分担にとらわれず、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するため、富山県民男女共同参画計画とともに輝く共生プランを策定しました。

今なぜ、計画が必要？

「もう男女は平等になっている」。

男女雇用機会均等法の改正や男女共同参画社会基本法の制定など、法律面での整備が進み、最近よくそのようにいわれています。

しかし、「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担意識は依然として根強く残っています。

このため県では、女性も男性も、人権が尊重され、個性と能力が発揮できる社会をめざし、平成十三年三月に富山県男女共同参画推進条例を制定しました。

市町村は、この計画を取り組みの方向としてそれぞれの地域の実情に合った独自の施策を進めてください。

民間団体の皆さんは、行政とのパートナーシップ(連携)のもとで活動のよりよい展開につなげていってください。

計画の目標は、男女共同参画の推進

この計画がめざす富山県の姿は、男女が人権を認め合い、人格を尊重しあう関係の中で、社会のあらゆる分野での活動に平等に参画する機会が確保され、固定的な性別役割分担にとらわれず、個性と能力を十分に発揮して、喜びと責任を分かち合いながら活躍する社会です。

四つの基本目標

この計画では、男女共同参画の推進に向けた県の施策、県民や事業者の皆さんの具体的な取り組みの内容を、四つの基本目標で示しています。この計画では、主な取り組みを紹介しています。

例を制定(同年四月施行)。県、県民、事業者それぞれの果たすべき責務を明らかにしました。

このたび策定した富山県民男女共同参画計画とともに輝く共生プランは、平成十三年度から二十二年度までの十年間を計画期間とし、条例に基づき具体的な取り組みを示したものです。

誰が何をするための計画？

性格

県民計画です

県民みんなで推進する県民計画です。

県の施策の計画です

男女共同参画施策について、県の取り組み方向を示す基本計画です。

役割

県民・事業者の皆さんは

男女共同参画の推進に努めることは、県民・事業者の責務です。この計画を一人ひとりの取り組みのよりよいものにつなげていってください。

の開催

エンパワーメント：判断力や行動力を養うこと、自立する力をつけること

しごとの方針をきめる

- ・県行政、教育分野での女性管理職の登用拡大
- ・男女共同参画推進アドバイザーの事業所への配置
- ・県農山漁村女性プランに基づく女性の農村水産業経営等への参画促進

地域の方針をきめる

- ・地域での女性リーダーを養成する出前講座の実施



男女共同参画に関する重要な事項を調査審議する「富山県男女共同参画審議会」。県民の代表として知事に意見を述べる事ができる。現在20人の委員のうち男性が8人、女性が12人。

基本目標 1 きめる

政策・方針決定の場への男女共同参画の推進

政策をきめる

- ・県の審議会等への女性の参画促進
- ・女性のエンパワーメント促進講座

基本目標 2 みなおす

男女平等意識の確立

意識をみなおす

- ・男性向け、高齢者向けの啓発資料の作成



昨年10月、富山市と宇奈月町で開催された「北東アジア21世紀女性会議」。北東アジア地域を対象とした初めての女性会議で、日本、中国、モンゴル、韓国、ロシアの女性が参加。世界の平和と繁栄に向けた循環と共生のメッセージ「富山宣言」が採択された。

男女共同参画推進員：男女共同参画の趣旨を広く普及するため各地域で啓発活動などを行う。現在県内に五七〇人各小学校区に二人ずつが配置されている。

- ・ 県が実施する「ミスリクエスト」の廃止、小、中学生対象の副読本の作成、副読本を活用した出前講座の実施
- ・ 家族の役割分担をみなおす
- ・ 男性の家事、育児、介護等への参画を促進するための意識啓発の実施
- ・ 制度・慣行をみなおす
- ・ 学校での男女混合名簿の導入状況の調査、分析の実施
- ・ 冠婚葬祭や地域の伝統芸能での固定的な考え方の調査研究の実施
- ・ 世界の女性とささえあう
- ・ 国際感覚をもった女性の人材育成の推進
- ・ 北東アジア地域対象の会議等を通じた、環日本海地域の女性や自治体との交流の促進
- ・ 取り組みをささえる
- ・ 県民共生センターでの男性、高齢者など、より幅広い層を対象とした啓発講座の実施
- ・ 男女共同参画推進員への男性の就任の促進
- ・ 市町村の男女共同参画計画策定の支援



高校生向けに作成した副読本。家庭科などの補助教材として活用している。

・ 県が実施する「ミスリクエスト」の廃止、小、中学生対象の副読本の作成、副読本を活用した出前講座の実施

女と男のパートナー会議

県では、男女共同参画計画を県民の皆さんに知っていただくため、「女と男のパートナー会議」を開催しています。この会議は、各地域の男女共同参画推進員の皆さんの企画・運営により、12月下旬から3月にかけて、県内16か所で開催するものです。21世紀の女と男の輝き方を一緒に考えてみませんか。多くの皆様の参加をお待ちしています。

新湊市を皮切りにスタートした「女と男のパートナー会議」。各会場では、講演会や寸劇など、趣向を凝らした催しが行われる。

今後の予定

2月	2日(土)	入善町民会館
	3日(日)	井波町総合文化センター
	16日(土)	サンフォルテ(富山市)、福岡町総合町民センター
3月	17日(日)	高岡市ふれあい福祉センター、上市町保健福祉総合センター
	23日(土)	生地コミュニティセンター(黒部市)、大沢野町民文化会館
	24日(日)	滑川市民会館
3月	2日(土)	八尾町コミュニティセンター、下村農村環境改善センター
	9日(土)	砺波地域職業訓練センター(砺波市)
	10日(日)	ささら館(上平村)

時間など詳しくは県庁女性青少年課までお問合せください。

県民共生センター(愛称:サンフォルテ)

男女共同参画推進条例で「男女共同参画の推進のための拠点施設」として位置づけられている県民共生センターでは、次の事業を実施しています。お気軽にご利用ください。

情報コーディネーター事業
図書室での各種書籍の閲覧・貸出
人材情報、生活情報、グループ・団体情報の提供

相談・カウンセリング事業
電話や面接による相談・カウンセリングの実施
相談専用電話 TEL 076(432)6611 火-土(9:30~16:00)

生活創造支援事業
男女共同による新しいライフスタイルの創造の提案と支援
学習・能力開発事業の企画・実施 など

ネットワークづくり支援事業
女性のネットワークづくりへの支援
各種交流事業の企画・実施 など

女性就業支援事業
能力開発事業の企画実施
創業・起業を志向する女性への支援

問合せ
☎076(432)4500
<http://www.sunforte.or.jp/>

富山県男女共同参画計画での主な目標

・審議会等での女性委員の割合 現在(基準値) 25.3% → 2005年の目標値 30%超
・育児休業の取得率 現在(基準値) 26.1% → 2010年の目標値 35%
・特別養護老人ホーム整備数 現在(基準値) 3,215床 → 2004年の目標値 4,200床
・在宅介護支援センター整備数 現在(基準値) 71箇所 → 2005年の目標値 100箇所
・雇用者全体に占める女性雇用者比率 現在(基準値) 42.5% → 2010年の目標値 44%
・延長保育の実施保育所数 現在(基準値) 112箇所 → 2010年の目標値 160箇所
・子育て支援センター設置数 現在(基準値) 11箇所 → 2010年の目標値 40箇所
・県民共生センターの各種講座受講者に占める男性の割合 現在(基準値) 18.6% → 2010年の目標値 30%
・男女共同参画推進員の男性比率 現在(基準値) 27.9% → 2005年の目標値 40%
・男女共同参画計画の策定市町村数 現在(基準値) 8市町村 → 2005年の目標値 全市町村

・ 道徳、学級活動と連携した性教育の系統的、体系的な推進

・ 妊娠中の女性労働者の母性健康管理についての専業主婦への情報提供

基本目標3 まもる

男女の心とからだの尊重

人権をまもる

・ 女性等への暴力根絶キャンペーンの実施

・ 職場や学校でのセクシャルハラスメント(性的嫌がらせ)の防止啓発の徹底

・ 県女性相談センターでのDV法に基づく配偶者暴力相談支援センターとしての機能の充実

DV法：配偶者からの暴力ドメスティック・バイオレンス(DV)を防止し、被害者を保護するために制定。平成十三年十月から施行された。

からだをまもる

・ 妊娠中の女性労働者の母性健康管理についての専業主婦への情報提供

基本目標4 ささえる

男女共同参画の基盤整備

家庭生活をささえる

・ ファミリーフレンドリー企業の普及

・ パートタイム労働法の適正運用の促進

・ 延長保育、一時保育、休日保育等、特別保育の拡充

・ 子育て支援センターの設置促進

ファミリーフレンドリー企業：仕事と家庭との両立がしやすい体制を整えている企業

高齢期の暮らしをまもる

・ 高齢者に適した健康づくりと介護予防・生活支援事業の推進

・ 介護保険制度の円滑な運営

・ 特別養護老人ホーム等の施設整備の促進

妊婦中の母親と父親が一緒になって、オムツの替え方やお風呂の入れ方などを人形で練習する育児教室(各市町村保健センターなどで実施)

男女共同参画に関する主な相談窓口

全般	サンフォルテ相談コーナー ☎076(432)6611 時間:火-土(9:30~12:00、13:00~16:00)
家庭内不和・生活困窮などの心配事全般に関する事	県女性相談センター ☎076(421)6252
犯罪の被害に関する事	女性被害110番 ☎0120(72)8730

皆さんの一人ひとりの意識と行動が大切です

今後、県はこの計画に基づき、様々な具体的施策を積極的に展開してまいります。男女共同参画の推進のために何より重要なのは、皆さん一人ひとりが自発的に考え、行動することです。皆さんもぜひ、男女共同参画を自らの問題としてとらえ、家庭や地域の中で「まもる」とから取り組んでください。

特集についての問合せご意見は
県庁女性青少年課まで
☎076(444)3137
<http://www.pref.toyama.jp/sections/17121712.htm>

男女共同参画は着実に進んでいます

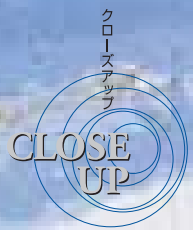
県男女共同参画推進員
新湊連絡会
代表 瀨山和子さん

現在、当会には十八人の推進員がいますが、そのうち七人は男性で、男性比率は県内の市町村の中でも高い方です。これまで、市内の各地区での巡回講座や男性も参加してもらっての介護教室を行うなど、地域に密着した活動に心がけてきました。

その甲斐もあって、女性男性どちらとも、数年前に比べ意識が随分変わってきました。今では、男性側の取り組み姿勢も積極的で、逆に教えられることもありますよ。

最近うれしかったのは、ある事業者から、社員向けの講演をしてほしいと依頼があったことです。事業者側からそういう声があがってきたのは、とても大きな前進です。

これからは、人材の育成が大事です。女性もどんどん社会に出て、自分を磨いてほしいですね。女性の時代」というより、女と男が一緒に生きる時代」になればと思っています。



富山から発信！ 地球志向の「日本海学」

本県は、環日本海地域の中央部に位置し、古くから中国、韓国、ロシアなどの対岸諸国との交易、交流の歴史があります。近年は、対岸諸国との友好提携、交流・協力事業を実施するとともに、伏木富山港や富山空港などの機能拡張を図るなど、環日本海交流の中央拠点をめざしています。いま、環日本海地域と深いかわりをもつ本県が提唱する「日本海学」が国内外に広く発信されようとしています。

「環日本海諸国図」
平成6年、県が建設省(現国土交通省)国土地理院長の承認を得て作成した地図(一部)

環日本海地域の発展に向けて

二十一世紀は、環日本海地域が大きく発展するといわれています。中国の世界最大の人口、ロシア・シベリア地域の天然資源、日本や韓国の高い技術と資本力が密接に結びつくことで、無限の可能性を秘めているといえます。

一方、急激な近代化や人口の増加などによって、大気や海洋の汚染、森林破壊などの環境問題が地球規模で発生していますが、世界人口の約半分を占めるアジアにおいて最も深刻になっています。陸で囲まれた日本海は豊かな海洋資源に恵まれていると同時に、これらの影響を受けやすく、日本海の環境変化は地球環境のセンサーといえます。

県では、平成十年に、「環日本海環境協力センター」を設立し、環日本海の環境保全を推進しており、平成十三年には、日本海側で初の国連機関となる「北西太平洋地域海洋行動計画(NOWPAP)本部事務局」の設置も決定したところです。環日本海地域が二十一世紀に発展していくためには同地域が抱える問題を総合的にとらえ、今後のあり方を探っていくことが重要と考えています。

注1 北西太平洋地域海洋行動計画(North-West Pacific Action Plan)閉鎖性水域の海洋汚染の管理と海洋および沿岸域の資源管理を目的とした地域行動計画。日本海と黄海が対象。

日本海学の誕生

県が作成した「環日本海諸国図」をみると、日本をはじめとする環日本海地域が、大きな湖のように見える日本海を囲んで結びついていることがわかります。

このような見方が柔軟な発想を生み、日本海および環日本海地域の過去・現在・未来にわたる人間と自然のかかわり、地域間の人間と人間のかかわりについて調査研究する「日本海学」が誕生しました。

本県は次のような特色があり、まさに環日本海地域の縮図といえます。

- 水深千メートルの深海から標高三千メートル級の北アルプスまで、高度差四千メートル以上に及ぶ山と川と海を結ぶ水の循環システムがあること
- 豊かな森をはじめとする自然の恵みを受けて多様な生物が息づく共生のシステムがあること
- 日本固有水(深層水)と対馬暖流が織り成す豊穡の海、日本海に面していること

このように環日本海地域のモデルともいえる森と水の豊かな本県から「日本海学」を発信し、地球と共生できる二十一世紀の新たなパラダイム(枠組)を提示していきます。

環日本海から世界へ提言

日本海学の取り組みは、国境を越えた地球規模のさまざまな危機を克服し、持続的発展に向けた環境との共生をめざしています。日本海学を進めるにあたっては、環日本海地域の人々と手を取り合い、知恵を結集しながら具体化を図っていく必要があります。昨年七月に開催された²北東アジア地域自治体連合一般交流分科委員会では、参加自治体とともに「日本海学」を支援していく方向で合意されました。今後、日本国内のみならず北東アジア地域全体で「日本海学」が進展し、日本海を「平和と発展の海」として守り育てていくことが期待されています。県では、今後も日本海学の推進に力を入れ、二十一世紀の諸問題への提言を環日本海地域から世界へ発信していきたいと考えています。

注2 北東アジア地域自治体連合 北東アジア地域における交流・協力を推進するために設立された自治体による国際組織。現在の会員は、日本、中国、モンゴル、韓国、ロシアの三十六自治体。総会にあたる自治体会議や実務委員会の開催をはじめ五つの分科委員会が活動している。

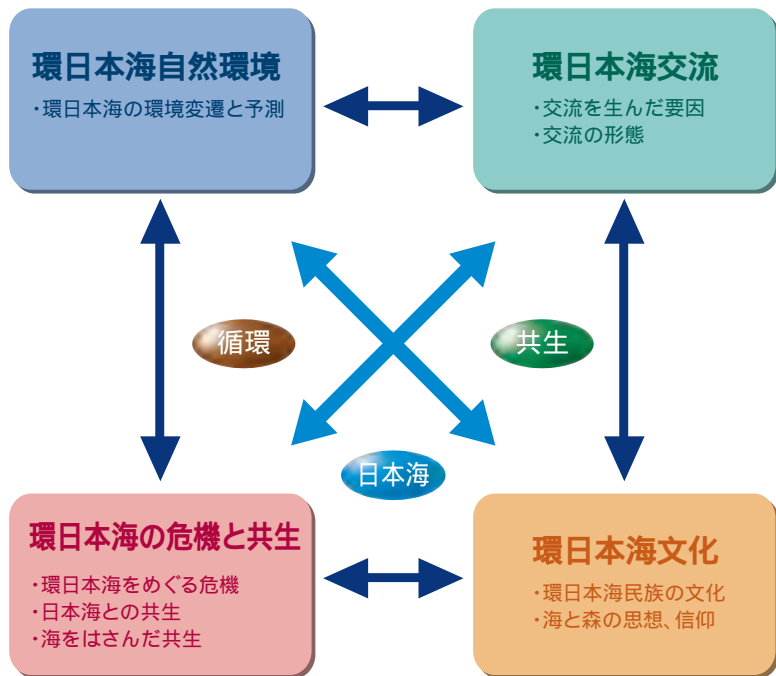
問合せ先 意見は、
県庁国際・日本海政策課
076(444)3339

日本海学の構成

日本海学は、本県の特徴にもある「循環」「共生」「日本海」の三点に基づき、環日本海自然環境、環日本海交流、環日本海文化、環日本海の危機と共生、という相互に関連する四つの研究対象分野で構成されています。

「日本海学」の3つの視点	
「循環」	環日本海地域が周期性をもった地球全体の自然環境システムの中で存在しているという視点
「共生」	環日本海地域における人間と自然との共生、日本海を共有する地域間における人間と人間との共生の視点
「日本海」	環日本海地域において、日本海が果たしてきた役割、意義を問い直し、これからの日本海との関係を見つめる視点

相互に関連する4つの研究対象分野



「日本海」という呼称について

「日本海」という呼称はキリスト教の宣教師が作成した地図がもとでヨーロッパに伝わり、国際的に使用されています。しかし、韓国や朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)では、朝鮮半島の東側に位置する海を「東海」と呼んでいます。現在、日本海学という名称を使っていますが、その発展を考えると、環日本海地域のすべての人々の共感をえられる名前がつけられることが期待されています。

「日本海学の新世紀」より



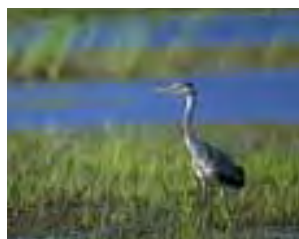
日本海学の入門書ともいえる「日本海学の世紀」創刊号(企画:富山県、発売:角川書店 税込み1,050円)が昨年3月に発刊。今年3月には「日本海学の世紀・第2集～還流する文化と美～」を発刊する予定。



富山市(昨年3月31日)と大阪市(同12月22日)で開催した「日本海学シンポジウム」。大阪で行われたシンポジウムでは、地中海と日本海との比較から文明と海についての考察が行われた。



観察ホールにある野鳥情報板には、観察された野鳥の最新情報が書かれていますので、チェックしてみよう。



灰色の羽が特徴のアオサギ。日本で一番大きなサギで、一年中観察できる。



冬鳥のジョウビタキ。灰白色の頭とオレンジ色のおながポイント。



池、水辺の植物であるヨシ、周囲の植樹帯など、野鳥たちにやさしい環境が整っている。左側の建物が観察センター、右側の植樹の外が海になっている。



観察ホールから、池を観察する。池のなかには、鳥たちが巣作りしやすいように鳥がつくられている。



緑色の頭と黄色いくちばし、白い首輪をもったマガモ。秋から春に観察できる。



観察センターの2階にある観察ホールは半円形になっており、180度見わたせる。窓には、茶色の透明シートが貼ってあり、野鳥から人間の姿を見えにくくする工夫がされている。

富山新港臨海野鳥園 海王バードパーク

環日本海文化交流の拠点づくりをめざす日本海ミュージアム構想の一環として、平成8年に開園。富山新港西埋立地に整備したもので、広さは4.6ヘクタール。海水と淡水が混ざった汽水の水域と、1万5000本の樹林帯、砂地、観察路などを持つ。埋立地の野鳥園としては日本海側最大。自然とのふれあいを通して、子どもたちの環境学習の場としても活用されている。

開園時間 / 午前9時～午後5時
(7月～8月は午後6時まで、11月～2月は午後4時まで)

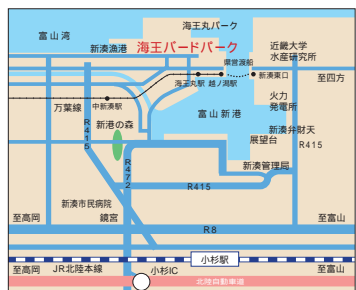
入園料 / 無料
休園日 / 月曜日(振替休日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日のときは開園)、年末年始(12月29日～1月3日)

バードマスターによる野鳥解説(無料) / 第2・4土曜日、日曜日、祝日

今後の予定
探鳥会 / 2月3日、3月3日
集合 午前8時30分
解散 午前10時30分
当日受付、参加無料

問合せ / (財)伏木富山港振興財団
☎0766(82)5881

公共交通機関で
JR高岡駅より万葉線車で約40分
海王丸駅下車 徒歩約5分
自家用車で
北陸自動車道小杉ICから約20分
国道8号鏡宮交差点から約5分



海王バードパークで観察される野鳥たち

1年中 観察できる鳥

カワウ・アオサギ・カルガモ・ミサゴトビ・チュウヒ・キジバト・キジ・ハクセキレイ・セグロセキレイなど

春～秋 に観察できる鳥

カイツブリ・バン・コチドリ・ツバメ・オオヨシキリ・セッカなど

秋～春 に観察できる鳥

マガモ・コガモ・ヨシガモ・ホシハジロ・セグロカモメ・タヒバリ・ヒヨドリ・モズ・ツグミ・ウグイスなど

春および秋(渡りの季節) に観察できる鳥

オシドリ・シマアジ・オオバン・トウネン・アオアシシギ・ルリビタキ・コヨシキリ・オオルリ・コサメビタキなど



園内に4カ所ある観察壁。観察穴から野鳥たちを驚かせないように見る。子どもの身長に合わせた低い穴もある。



観察ホールには、園内や富山新港埋立地で観察された野鳥の写真が展示されている。

海の近くでバードウォッチング。 自然とふれあう野鳥の楽園。

初心者でも気軽に野鳥観察。いろいろな鳥を見てみよう。

海王バードパーク

鳥が訪れる自然環境

海王バードパークは、海王丸パークの西側にあり、周囲を木々に囲まれた静かな野鳥園。園内に入ると通路の両側に樹木が並び、姿は見えなくてもあちこちから鳥の鳴き声が聞こえてくる。

この一帯は、伏木港の航路確保のため、水底をさらった土砂の処理場としてできた埋立地。昭和四十九年に埋立が始まると、イソメやゴカイなどの底生成物が発生し、それらを採食する野鳥が多く訪れるようになった。

埋立が終わった後、野鳥が生育する環境を守り、海や自然とのふれあい空間として活用するため、この野鳥園がつけられた。このあたりは、日本海側の渡りのコース上に位置することから、渡り鳥の中間地となっており、開園以来、百二十種を超える鳥が観察されている。

野鳥を育む、野鳥を見守る
「ここでは、鳥たちが安心してすみ、休息できるように、観察する人間が心を配るようになっている。」

観察センター二階の観察ホールからは、池や植樹帯など園内が一望できる。池には、鳥が休眠や採食

するためのヨシが植えられ、周囲の植樹帯には実のなる木が植えられている。

観察ホールには望遠鏡や鳥類図鑑が用意されているので、バードウォッチングの初心者でも気軽に観察を楽しめる。また、休日などにはバードマスター(野鳥解説指導員)が丁寧に野鳥の解説をしてくれるので、より知識を深めることができる。

自然を学び、ふれあう豊かな

この季節、望遠鏡をのぞくと、池の向こう岸には羽を休めるアオサギ、水面にはマガモの群れが見える。鳥の観察ポイントを書いたイラストが置いてあるので参考になる。

講別できる鳥が増えていくのも、観察の楽しさのひとつ。さらに園内には東西に観察小屋があり、より近くから鳥の姿を見ることもできる。

野鳥には一年中観察できる鳥、夏や冬にいる鳥、渡りの季節だけに見られる鳥がある。野鳥は四季の移り変わりを豊かに感じさせてくれる。野鳥の生態や自然との関わりを通して、自然の奥深さや大切さも感じることができる。家族で出かけて観察を楽しむのもいい。

第13回世界移植者スポーツ大会

競泳金メダリスト

おおた ともえ

太田 友恵さん

1968年生まれ 新湊市在住

高岡市長慶寺プールで指導員を務める太田友恵さん(33歳)は、昨年8月、日本で初めて神戸で開かれた「世界移植者スポーツ大会」(2年に1度の開催)に出場。競泳で日本人初の金メダルを獲得した。3年前、劇症肝炎に襲われ、生体肝移植を受けた太田さん。突然の出来事はそれまでの人生を一変させたが、新たな気持ちと目標を持って再出発。その笑顔には他の人にはない輝きがある。



過酷な日々も貴重な体験。
生きる喜びと元気を伝えたい。

とやまの
やる気・元気

会場の拍手と歓声に胸が熱く
「私が肝臓、二位のオーストラリアの人が腎臓、三位のアメリカの人が心臓。自分のことを棚に上げて、すごいなって感動しました(笑)」
臓器移植を受けて元気になった人たちが集い、ドナー(臓器提供者)に感謝するとともに、臓器移植への理解を深めようと開催される「世界移植者スポーツ大会」。初出場の太田さんは、金メダル二個、銀メダル一個を獲得し、日本人選手として過去最高の成績に輝いた。
さまざまな境遇を経て世界中から集まった選手たち、そして自分も選手として参加できる喜び。拍手と歓声で埋め尽くされた会場の中で、胸が熱くなる感動を覚えた。しかし、そんな自分の姿は、三年前には想像もしないものだった。



50mバタフライで、2位、3位の選手と一緒に感動を分かち合う。胸には金メダルが輝く。

突然襲った信じられない運命
小学校五年から水泳を始め、高校卒業後、プールの指導員として活躍していた太田さんを、劇症肝炎という病気が襲ったのは、三年前の夏だった。
体のだるさを感じ、ただの疲労と思つて受診したが、即入院。診断の結果、「あと一週間の命」と宣告された。ただひとつ残された生体肝移植手術に望みをつなぎ、家族からの臓器提供を受けた。「現実を把握する前にいろんなことが起こって、何が何だかわからない状態」だった。
体調は順調に回復したが、しばらくは何もする気になれず、家に閉じこもる日々が続いた。その後、家族や同僚に励まされ、指導員に復帰したが、「この仕事を続けていけるか」という迷いが常につきまとった。そんな時、入院中に知り合った人が教えてくれたのが「世界移植者スポーツ大会」だった。
”宝物のような体験”を生かして
「自分がこれほど周囲の人々に支えられているのに、何をしているんだろう。出場すれば何かが見える



うまく泳げない子どもたちを励ましながら指導する太田さん。

かもしれない」と大会への挑戦を決意。納得できるタイムを出すことを目標にトレーニングを重ねた。そして、何よりもプールに戻ってきた喜び。「やっぱり自分には水泳しかない」と気持ちが固まった。
現在、太田さんは主婦や小学生に水泳を教えている。
「動けなくなって初めて、泳げない人の気持ちになって教えることの大切さを実感しました。私にはあの病気が必要だったんだと思います」と明るく笑って言う。
生きる喜びの中で、あの壮絶な日々さえも、「宝物のような体験」と振り返る太田さん。自分を支えてくれた医師や看護師、同僚、そして家族への感謝の気持ちはいつまでも忘れない。「私の元気な姿を見せることが、誰かの励みになってくれれば」と語るその笑顔に、もう迷いはないようだ。

離職者支援資金貸付金制度のお知らせ

失業により生計の維持が困難となった世帯の自立を支援するため、再就職までの間、生活福祉資金の中に、新たに生活資金を貸し付ける制度を開始しました。

貸付対象者

次の条件のいずれにも該当する世帯

- 生計中心者の失業で生計の維持が困難であること
- 生計中心者が就労することが可能で、求職活動など仕事に就く努力をしていること
- 生計中心者が就労することで生活の見通しが明らかかなこと
- 生計中心者が離職の日から2年(特別な場合は3年)を超えていないこと
- 生計中心者が雇用保険の一般求職者給付を受給していないこと

貸付内容

- 貸付期間 12ヵ月以内
ただし、次の期間は除かれます。
- a.離職の日から2年(特別の場合は3年)を経過した月の翌月以降
- b.就職した月の翌々月以降
- 貸付限度額 月額20万円(単身世帯は10万円)
- 貸付利率 年3%
- 償還期間 据置期間経過後 5年以内
- 据置期間 貸付期間の終了後 半年以内
- 連帯保証人 原則として2名必要
- 貸付申請窓口 お住まいの市町村の社会福祉協議会

問合せ 県社会福祉協議会地域福祉課 ☎ 076(432)2960 または 県庁社会福祉課 ☎ 076(444)3197

とやま棚田ネットワークの会員募集

棚田を守る取り組みを支援する「とやま棚田ネットワーク」が発足しました。棚田のことをもっと知りたい方や棚田保全を支援したいと思っている方など幅広く募集しています。

対 象 どなたでも可(原則、高校生以上)

会 費 無料

会員特典 会員証が交付され、棚田に関する取り組みや催しの情報などを案内する会報誌が配布されます。保全活動などへの参加は自由です。

申込方法 住所、氏名、年齢、職業、電話番号、資料送付先を記入し、郵送かFAXでご応募ください。

詳しくは、企画管理課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1600/1600.htm>

申込み・問合せ

〒930-8501(住所記載不要)

県庁企画管理課

☎ 076(444)9011 FAX 076(444)4407

こころの健康づくりセミナーの開催

こころの健康づくりについての講演があるほか、ストレス解消に有効な自律訓練法を紹介します。

日 時 3月9日(土) 午後1時30分~3時40分

会 場 県民共生センター(サンフォルテ)

内 容 講演「健康は目に見えない宝石です」
小川宏氏(アナウンサー)による体験談を交えた講演

リラックスセミナー

専門講師によるストレス解消に有効な自律訓練法の紹介

入 場 料 無料(入場整理券が必要です)

定 員 350名(先着順)

申込方法 電話、FAX、電子メールなどで、住所、氏名、電話番号、リラックスセミナーの参加希望の有無をお知らせください。(締切2/22)

申込み・問合せ

〒930-8501(住所記載不要) 県庁健康課

☎ 076(444)3223 FAX 076(444)3496

電子メール: kenko2@pref.toyama.jp

職業能力開発センター

14年度6ヶ月コース(4~9月)入所生募集

富山職業能力開発センター ☎ 076(451)3504

科目・定員 / エクステリア造園科、インテリア科、配管設備科、情報ビジネス科 各20名

募集期間 / 2月14日(木)~3月1日(金)

ほか金属加工科(1年コース)もあります

黒部職業能力開発センター ☎ 0765(52)0251

科目・定員 / 住宅サービス科 30名、情報ビジネス科 20名

募集期間 / 2月12日(火)~3月1日(金)

ほか造園科(2ヶ月コース)もあります

福野職業能力開発センター ☎ 0763(22)3152

科目・定員 / 木材工芸科 20名、情報ビジネス科 10名

募集期間 / 2月20日(水)~3月12日(火)

ほか介護サービス科(2ヶ月コース)もあります

問合せ 各職業能力開発センター

ジェット

JET世界まつり2002の開催

県内で活躍中の国際交流員、外国語指導助手、スポーツ国際交流員たちが、日ごろの活動状況や出身国について紹介します。

日 時 2月17日(日) 午後0時30分~4時

場 所 新湊市中央文化会館

内 容 出身国紹介ブース
ステージアトラクション
ミニ外国語レッスン
国際喫茶店(各国の飲物・菓子の試飲)
国際ポスター・写真コンテスト
世界のゲーム・遊びコーナー
世界の民族衣装試着
JET(The Japan Exchange and Teaching Programme)とは、語学指導等を行う外国青年招致事業のことです。

入 場 料 無料

問合せ 県庁国際・日本海政策課 ☎ 076(444)3158

編集部から

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。
(例:最新号から1年間購読を希望する場合は、160円×7回=1,120円になります。)

あて先

〒930-8501(住所不要)富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

10月号プレゼント当選者

桂湖のレンタルカー割引券
澤田恵子さん(富山市)
山田和佳子さん(高岡市)
横田米子さん(高岡市)
山崎恵子さん(氷見市)
島田美千子さん(砺波市)

正解は「ボランティア」でした。

11・12月号プレゼント当選者

トラソピアダイナミックゾーン利用券
角谷千映さん(高岡市)
新開澄栄さん(氷見市)
山田敏江さん(砺波市)
小森裕子さん(立山町)
岡崎智子さん(八尾町)

正解は「共生」でした。

預金の保護範囲が変わることをご存じですか？

金融機関への預金は現在、全額保護されていますが、今年4月以降、保護の範囲が変更されます。なお、万一、金融機関が破たんした場合でも預金者1人当たり、預金の元本1,000万円までとその利息は、従来どおり保護されます。

【対象となる商品と保護の範囲】

種類		～平成14年3月末	平成14年4月～ 平成15年3月末	平成15年4月～
対象商品	当座預金 普通預金 別段預金	全額保護		元本1,000万円までとその利息を保護 (1,000万円を超える部分は破たんした金融機関の財産の状況に応じて支払われます。)
	定期預金 定期積金 貯蓄預金 ビック、ワイド等			
対象外商品	外貨預金 譲渡性預金 ヒット等			保護対象外 (破たんした金融機関の財産の状況に応じて支払われます。)

農林中央金庫、農協、漁協、水産加工業協同組合にお預入れの貯金等についても、同様に保護されます。

対象金融機関

銀行(日本国内に本店のあるもの) 信用金庫 信金中央金庫 信用組合
全国信用協同組合連合会 労働金庫 労働金庫連合会

詳しくは、金融機関の窓口または、下記までお問い合わせください。

問合せ	金融庁	☎ 03(3506)6000	http://www.fsa.go.jp
	預金保険機構	☎ 03(3212)6030	http://www.dic.go.jp
	金融広報中央委員会	☎ 03(3279)1111	http://www.saveinfo.or.jp
	農水産業協同組合貯金保険機構	☎ 03(3285)1272	http://www.sic.or.jp
	県庁生活文化課	☎ 076(444)3129	

とやまの情報お伝えします!【2月の県政番組】 タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00～11:30

3日 2月7日は北方領土の日
10日 ふるさと探訪 ～八尾町～
17日 住まいづくり最新情報
24日 ボランティア・NPO

とやまDASH! 富山テレビ
フォーカス・イン 毎週日曜 9:00～9:30

3日 雪を楽しもう～話題のスノースポーツ～
17日 富山の鍋料理
24日 富山のシニア事情
2月10日は放送がありません。

富山が元気。 チューリップテレビ
見たモン勝ち2 第4日曜 10:00～10:52

24日 富山の住まい

とやま県間録 FMとやま
毎週月曜～木曜 11:30～11:40
毎週土曜 11:30～11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。

新聞広報「県からのお知らせ」
2月2日の朝刊各紙に掲載予定
富山県ホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ ご応募お待ちしております。

県民共生センターは、男女共同参画の推進のための拠点施設ですが、その愛称はなんでしょうか。

「 」とお答えください。

答えは特集を読めばわかります。

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と、本誌の感想・入手方法を記載。

あて先/〒930-8501(住所不要)

富山県庁広報課「県広報とやま2月号」クイズ係

締切/3月5日(火)(消印有効)

正解者の中から10名の方に、海王丸のテレフォンカードをプレゼントします。



近代美術館

富山市西中野町1-16-12
☎076(431)7111

生誕100年記念 荻須高德展
【2/9(土)~3/24(日)】
生涯を通して、パリの街角を愛情込めて描いた洋画家・荻須高德の作品を紹介します。一般900円/高・大650円/小・中450円
常設展示もご覧になれます。
講演会「荻須とオグスの間」
【2/16(土)14:00~】無料
ビデオ上映会
【2/24、3/9、17、23 14:00~】無料

9:30~17:00(入館は16:30まで)
☎月曜・祝日の翌日(2/11、3/22は開館) 2/7まで
常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円

水墨美術館

富山市五福7-7
☎076(431)3719

正宗 ~日本刀の天才とその系譜~
【2/9(土)~3/10(日)】
長い日本刀の歴史の中で、現在でもよく知られている名工・正宗の作品や富山ゆかりの則重、義弘などの作品約50点を展示します。
一般700円/高・大500円/小・中350円
常設展示もご覧になれます。

9:30~17:00(入室は16:30まで)
☎月曜(2/11は開館)・祝日の翌日
常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円

立山博物館

立山町芦峯寺3-11
☎076(481)1216

立山曼荼羅を聴く
-立山曼荼羅とえとぎの世界-
【2/22(金)18:30~20:00】無料
講師/米原 寛(立山博物館館長)
定員/130名(先着順)
会場/県民小劇場オルビス(富山駅前マリエ7階)
直接、会場へお越しください。

9:30~17:00(入館は16:30まで)
☎月曜(2/11は開館)・祝日の翌日
一般650円 高・大400円 小・中250円
展示館・展望館・まんだら遊苑の3施設セット券
まんだら遊苑は、3/31まで休苑

立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前
☎076(481)1600

フィールドウォッチング「立山の雪を体験しよう」
【2/17(日)13:30~16:00】
ペットボトルを使って雪の結晶作りに挑戦し、屋外で2m近い深雪を体験します。
定員/20名 参加費/無料 要申込 2/15まで

ナチュラリスト写真展「自然の魅力」
【3/1(金)~31(日)】無料
自然解説員が感じた自然の素晴らしさを紹介します。

9:30~17:00
☎月曜(2/11は開館)・祝日の翌日、2/18~23
常設展示観覧料 一般400円 高・大320円 小・中200円

中央植物園

婦中町上橋田42
☎076(460)4187

企画展「私の植物画展」
【2/13(水)~2/27(水)】
「平成13年度研究活動展」
【3/1(金)~3/27(水)】

日曜植物案内
【3/3(日)11:00~12:00】
いずれも入園料のみで観覧・参加できます。

9:00~17:00(入園は16:30まで)
☎木曜・祝日の翌日
入園料 一般600円 小・中300円

自然博物園 ねいの里

婦中町吉住1-1
☎076(460)5252

特別展示「高等学校生物部会写真展」
【3/11(月)まで】
県内の高等学校教諭(生物部会)が撮影した写真を展示します。

自然観察会「マンサクと早春の生き物」
【3/17(日)10:00~12:00】
残雪の中に黄色い花を咲かせるマンサク、万葉植物のカタクリやサンショウウオなどを観察します。
対象/小学生以上 参加費/無料 要申込 3/16まで

9:00~16:00 ☎火曜・祝日の翌日
入園無料

とやま健康パーク

富山市友杉1-5-1
☎076(428)0809

健康医学講演会
「笑って楽しく心を健康に」
【3/13(水)13:30~15:00】無料
講師/四津谷道宏(高岡山瑞龍寺 副住職)

☎月曜(2/11は開館) 2/12
健康スタジアム10:00~22:00(日・祝は~19:00)
1日1,800円/3時間 1,500円/2時間 1,000円
生命科学館(展示場)9:30~17:00 200円
屋外健康づくり施設 9:30~17:00 無料
小・中学生は半額、幼児は無料です。

こどもみらい館

小杉町黒河(太閤山)下内
☎076(656)9000

こども歳時記「ひな祭り」
【2/9(土)~3/3(日)】
さまざまな素材を使って、かわいいひな人形作りを楽しみます。
材料代 100~300円

パペットワールド
【2/17(日) 23(土) 24(日) 3/3(日) 13:30~】無料
全国各地で活躍するプロの人形劇団による公演を行います。

9:30~17:00 ☎火曜・第4水曜、祝日の翌日
入館無料

高岡文化ホール

高岡市中山園町13-11
☎076(625)4141

ズームアップ!
郷土の音楽家たちコンサート2002
友井賢太郎ジャズ&フュージョン
新しいビッグバンドとの出会い
【3/15(金)開演19:00~】
富山市出身のジャズピアニスト友井賢太郎と活動を共にする演奏家たちが新しいスタイルのステージを繰り広げます。
一般3,000円 学生1,000円(前売・当日とも)
会場受付にて座席指定 18:00~

新川文化ホール

魚津市吉津1-10番地
☎076(523)1123

第4回にいかわ美術展
【2/9(土)~17(日)10:00~18:00】無料
新川地域の市・町展で選ばれた優秀作品を展示します。
2/12(火)は休館

バレエパフォーマンス イン 新川2002
【3/17(日)開演14:00~】
県内のバレエ研究所による創作舞踊を披露します。
一般800円 全席自由

県民小劇場オルビス

富山駅前マリエ7階
☎076(445)4531

「舞台芸術・芸能一発見ライブ in ORBIS」
パフォーマンス演劇っておもしろい!
【3/8(金) 9(土)開演18:30~】
空間を切り裂くような緊張感と激しい身体表現で、演劇界には類を見ない作品を発表し続ける劇団解体社の公演を行います。
上演作品「De - Control」
3,000円(前売・当日とも)全席自由

情報工房

富山市高田5-2-7
☎076(444)7887

春の情報工房フェア
【3/16(土) 17(日)10:00~16:00】無料
・家庭でのウィルス対策の紹介
・「パソコンお楽しみ教室」
(カレンダー作りなどを行います)
要申込 2/10~19

9:30~17:00
☎月曜(2/11は開館)・祝日の翌日
入館無料

各施設では、車いす用トイレや出入口段差解消のためのスロープを設置しています。



暮らしを潤す水音に 今日も弾む井戸端談議

とやま
音のある
風景

Vol.40
生地の共同洗い場
黒部市

「シャーツ、シャーツ」。広い水槽を満たしながら、勢いよく流れる透き通った水。黒部市生地の共同洗い場では、冬場も豊かな水量は変わらない。水温が四季を通して約十一度と安定しているから、夏冷たく、冬は温かい。

黒部川の伏流水が、いたるところで「んこん」と湧き出る「清水の里」生地。共同洗い場は、昔から炊事や洗濯に利用されてきた。「黒部川扇状地湧水群」のひとつとして、環境庁の「全国名水百選」にも選ばれている。

現在の洗い場は、ステンレスなどで近代的に整備されている。しかし、主婦たちの談笑風景は、今も昔も変わらない。「天気、いいなってきたね」「向かいの上のっさん、今年小学校やと。早いもんやねえ」「あんたんとこ、今晚何にするんげ」

流れ出る水をふんだんに使い、ジャバジャバと洗いあげていく気持ちよさ。水音がリズムとなって、井戸端談議も自然とにぎやかに弾んでくる。

上の水槽では、果物を冷やしたり野菜を洗ったり、洗濯物は下の水槽。洗い場には、みんなで使うためのルールがある。それは、天与の恵みを大切にす人々の心。生き生きとした笑顔を映して、今日も清冽な水が流れている。

県内50箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。